

障害のある人の工賃向上に向けた 県庁内での取組

幸福(しあわせ)

産みだすこの一品



健康福祉部障害者支援局



1

障害のある人の就労と工賃

障害のある人の就労の種類

一般就労	福祉的就労	
一般の企業等	就労継続支援事業所（一般就労が困難な人が支援を受けながら働く障害福祉事業所）	
	A型	B型
	雇用契約あり	雇用契約なし

⇒最低賃金の保障がないB型は特に支援が必要

B型の工賃推移

区分	H26	H27	H28	H29	H30
平均工賃月額	14,363	14,818	15,159	15,675	16,285
対前年度増減額	+308	+455	+341	+516	+610
対前年度伸び率	+2.1	+3.1	+2.3	+3.4	+3.9

区分	R元	R2	R3
平均工賃月額	16,511	15,529	16,468
対前年度増減額	+226	▲982	+939
対前年度伸び率	+1.4	▲5.9	+6.0



2

⇒向上しているが自立できる水準には至っていない。R5に2万円を目指す。

県による障害者就労施設等からの調達①

趣 旨

- 県は、障害者優先調達推進法に基づき、「受注機会増大の努力義務」、「調達方針(目標含む)策定及び公表、実績公表の義務」を負う。
- 調達方針・目標達成に向け、全庁を挙げて取り組む。

R 4 実績

- 「1所属1発注」100%達成 (H25の取組開始以来初) (知事部局、教委、県警の402所属のすべてで発注)
- 調達実績 : 74,397千円 (過去最高)

主な取組	<ul style="list-style-type: none">・ 部内職員対象の相談会の開催 (健康福祉部)・ 単独事務所の施設管理・清掃等の発注を推進	
主な増加理由	<ul style="list-style-type: none">・ コロナ抗原検査キットの袋詰め作業 (新規)・ 工科短期大学の屋上庭園管理 (新規) <p>※ほかにも、袋井土木事務所での駐車場除草・剪定の一般造園業者からの切り替えなど (コスト削減効果もあり) 3</p>	

県による障害者就労施設等からの調達②

R 5 方針・目標

- 「1所属1発注」の100%達成を継続
- 調達目標 : 75,000千円

R 5 重点取組

- ① 各種イベントでのリーフレット印刷・グッズ製作の発注促進
- ② 単独事務所の施設管理の拡充
- ③ 物価高騰等を反映した価格への配慮



各部局での職員向け相談会を御検討ください！
相談員を派遣します！

一人一品運動協力隊

趣旨

■障害のある人の工賃向上を目的に、県職員を対象として福製品のセット商品を購入する「一人一品運動協力隊」をR元から実施

実績の推移



一人一品運動 協力隊 申込募集

障害のある人が誇りを持って働く機会を創出し、福祉サービスの充実と自立を支援する運動です。

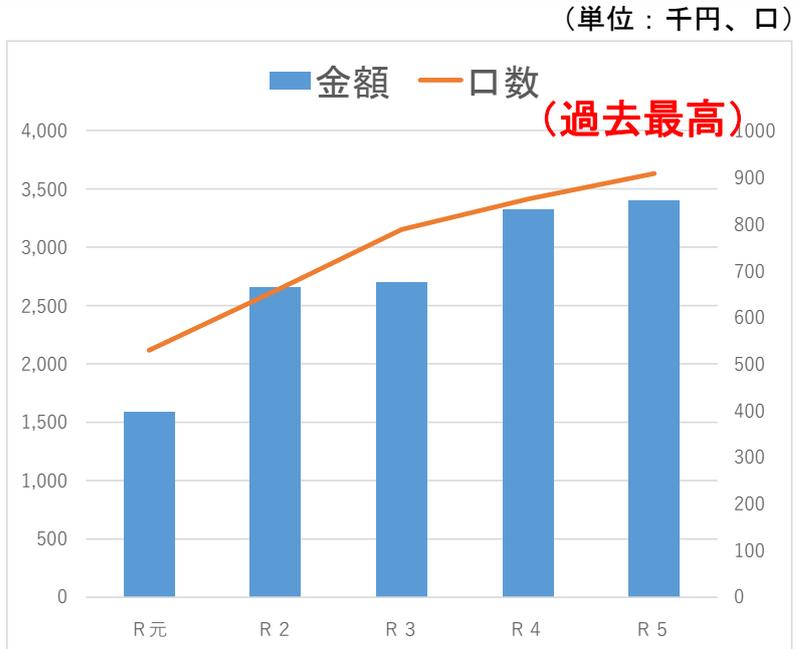
応募期間：令和3年 4月12日(水)～5月9日(火)

お申し込み期間：令和3年 9月頃

コース：全4コース Aコース Bコース Cコース Dコース

Aコース (ファミリーセット) 税込3,000円/口

Bコース (ファミリーセット) 税込3,000円/口



庁内販売会

実績の推移



7月5日(水)・6日(木) 午前11時～午後3時 県庁西館4階A・B・C会議室

2月7日(火)・8日(水) 午前11時～午後3時 県庁西館4階第一会議室A・B・C



R5の予定

- サマーフェア：R5. 7. 13～14
- バレンタインフェア：R6. 2月



今年もたくさんの御来場お待ちしております！



(参考) 工賃向上のための事業所支援・企業等へ向けた取組

ふじのくに福産品等SDGsパートナー認定制度

- R5 新規事業
- 年間30万円以上の購入実績がある企業等を県が認定・公表
- 継続的・安定的売上げにつなげる。



民間企業向け一人一品運動協力隊

- R4から民間企業等へ本格拡大 (23企業・団体、967口、3,028千円)



農福連携支援

- 農福連携ワンストップ窓口
- 参入を促すセミナー・研修
- 実践的な個別技術支援
- ノウフクマルシェの開催
- 6次産業化支援



新商品開発支援

- R3~5、毎年度3事業所を支援
- 外部専門家による年間を通じたサポート



7

引き続き、御協力をお願いします

障害のある人が分け隔てられない
共生社会の実現に向けて

